

三社協福育第277号
令和2年10月7日

各市町介護保険担当課長 様

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会
事務局長 松本 利治
(公印省略)

令和2年度生活支援コーディネーター養成研修の開催について（依頼）

時下、ますます御清祥のことと存じます。

平素は、本会事業の推進につきまして、格別の御理解、御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、介護保険法が改正され、画一的なサービス整備から多様な地域づくり、支え合う地域づくりへの発想の転換が、自治体にも福祉専門職にも、住民にも求められています。

本研修会は、生活支援コーディネーターに着任して比較的経験の浅い方や就任予定の方等を対象とし、これからの地域づくりに重要な役割を果たす生活支援コーディネーターと協議体に期待される役割や取組の視点などを学び、各地域における取組を推進する人材を養成することを目的に別添開催要綱の通り実施します。

なお、本年度は新型コロナウイルスの影響で調整が遅れ、開催が例年よりも遅れて大変申し訳ありませんでした。また、調整の結果、本年度はオンラインでの開催となり、参加方法が大きく変わっておりますので、ご注意ください。

つきましては、参加者をお取りまとめのうえ、11月4日（水）までにお申し込みいただきますようお願いいたします。

記

1 添付

- (1) 令和2年度生活支援コーディネーター養成研修開催要綱
- (2) 令和2年度生活支援コーディネーター養成研修参加申込書

社会福祉法人三重県社会福祉協議会
福祉研修人材部 担当 山崎
〒514-8552 津市桜橋2丁目131
TEL 059-213-0533 FAX 059-222-0305
E-mail:shinia@miewel.or.jp

令和2年度生活支援コーディネーター養成研修 開催要綱

1 目的

介護保険法が改正され、画一的なサービス整備から多様な地域づくり、支え合う地域づくりへの発想の転換が、自治体にも福祉専門職にも、住民にも求められています。

本研修会は、生活支援コーディネーターに着任して比較的経験の浅い方や就任予定の方等を対象とし、これからの地域づくりに重要な役割を果たす生活支援コーディネーターと協議体に期待される役割や取組の視点などを学び、各地域における取組を推進する人材を養成することを目的に開催します。

2 主催

社会福祉法人三重県社会福祉協議会（三重県委託事業）

3 協力

特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）

4 日時

令和2年11月10日（火）13：30～16：00（予定）

※録画映像ではありませんので、この時間のみの配信となります。

5 実施方法・会場

- ・Zoomを利用したオンラインによる研修として開催します。
- ・各申込者でご用意したパソコン等の端末で受講ください。
- ・講義中、何度かグループを分けてワークを行いますので、一人一台で接続して参加してください。

6 対象

- ①各市町職員
- ②各市町または広域連合が生活支援コーディネーターとして従事（就任予定者・検討者を含む）している者

7 定員

90名（台）

（受講上限（接続台数上限）に達した場合は、人数や接続台数の調整をお願いすることがあります。）

8 内容・日程（予定）

受付（入室開始） 13時00分

開会・オリエンテーション 13時25分

講義 13時30分

- 生活支援コーディネーターの役割・考え方
つながり・支え合う地域の共有、互助支援、気に掛け合い、あるもの探し 等
- 地域を元気にする話し合いの場＝協議体について
- コロナ禍でもつながりを切らない事例
- 参加者同士の意見交換
（Zoomの機能を利用したグループ討議、発表）

閉会

16時

9 講師

全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）理事長 池田 昌弘 氏

講師略歴

全国社会福祉協議会、栃木県社会福祉協議会、東北福祉会「せんだんの杜」副社長（特養などの施設長を併任）などを経て、2005年7月から現職。現在、CLCでは、岩手、宮城、福島の3県において、東日本大震災における被災者生活支援員研修に実施や「月刊地域支えあい情報」等を発行。また、宮城県内外の生活支援コーディネーター及び協議体の取り組みを発信する情報紙「MIYAGI まちづくりと地域支え合い」の発行（宮城県から受託）。

さらに宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議の構成団体として、宮城県生活支援コーディネーター養成研修を実施している。

○委員等の活動

- ・厚生労働省 令和2年度「重層的支援体制整備事業に係る自治体等における円滑な実施を支援するためのツール等についての調査研究事業」検討委員会 委員
- ・厚生労働省 令和2年度「共生型サービスの実態把握及び普及啓発に関する調査研究事業」委員会 委員

★情報誌「MIYAGI まちづくりと地域支え合い」http://www.clc-japan.com/sasaeai_m/index.html

10 受講料・使用テキスト

無料

※ 本年度は、当日資料以外のテキストは使用しません。

11 オンライン研修受講にあたっての注意事項

- (1) 今回のオンライン研修はZoomを利用します。当日までにご自身で受講環境（端末、通信等）を整備した上で受講してください。
- (2) Zoomを利用されたことのない方は、「Zoomのホームページ」（<https://zoom.us/>）で使用方法や使用条件を確認し、必要なソフトをダウンロードしてください。また、Zoomミーティングのテストページ（<https://zoom.us/test>）がありますので、接続や使用方法をご確認して研修の準備をしてご参加ください。
- (3) 講義中に何度か、Zoomのブレイクアウトルーム機能を利用したグループ討議を行います。グループごとに司会及び記録を事前にお願ひすることがありますので、ご協力お願ひします。
- (4) ヘッドセット（マイク付き）がある方は、他の方とのやり取りがしやすくなりますので、ご利用お願ひします。

12 参加申し込み

市町で参加希望をお取りまとめいただき、参加申込様式に必要事項を記入してFAXまたは郵送で11月4日（水）までに事務局へ送付ください。特に受講に関する接続情報を送付するEメールアドレスは、はっきりとわかるようにご記入ください。

また、本会ホームページのお知らせ欄に本要綱を掲載します。Googleフォームを利用してもお申し込みいただけますので、ご利用ください。

申込フォーム ⇒ <https://forms.gle/TnKE7BUAu4y5so6Y6>

なお、受講上限（接続台数上限）に達した場合は、人数や接続台数の調整をお願いすることがあります。

13 受講情報の送付

開催前日までに、指定のEメールアドレス宛に受講に関する接続情報を送付します。
資料についても同じアドレスに送付しますので、受講日にはそれをご準備ください。

14 その他

- (1) 厚生労働省が示した中央研修テキストは、下記で公開されています。本年度の研修では使用
しませんので、それぞれ御確認ください。
「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)に係る中央研修テキスト」
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000084710.html>
- (2) 生活支援コーディネーターフォローアップ研修は調整中です。確定次第、御案内します。

15 事務局

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 福祉研修人材部 担当 山崎
〒514-8552 津市桜橋2丁目131
TEL 059-213-0533 FAX 059-222-0305 E-mail : shinia@miewel.or.jp

送付先 FAX 059-222-0305 (三重県社会福祉協議会福祉研修人材部 山崎 行)

令和2年度生活支援コーディネーター養成研修 参加申込書

参加申込書記入者

市町名等			
所属部署名		担当者名	
連絡先	TEL		

参加希望者

申込No. 1			
申込者の区分	1 生活支援コーディネーター (活動中) ※右も記載 → (活動年数 年) 2 生活支援コーディネーター (就任予定) 3 行政職員 4 その他 ()		
所属団体等の名称		所属部署名	
役 職		氏 名	
オンライン受講に関する情報 送付先 E メールアドレス			
備 考			

申込No. 2			
申込者の区分	1 生活支援コーディネーター (活動中) ※右も記載 → (活動年数 年) 2 生活支援コーディネーター (就任予定) 3 行政職員 4 その他 ()		
所属団体等の名称		所属部署名	
役 職		氏 名	
オンライン受講に関する情報 送付先 E メールアドレス			
備 考			

※2名以上の申し込みの場合は、本様式をコピーしてご記入ください。申込 No の数字を3、4、…、と変更して記入してください。

※Google フォームを利用して申込もできますので、ご利用ください。

入力フォームアドレス ⇒ <https://forms.gle/TnKE7BUAu4y5so6Y6>